

やましろ食育プロジェクト

山城地域では地域の食文化を通して子どもたちが健やかに成長し、地域の人々がより健康で豊かに暮らせるよう「やましろ食育プロジェクト」を実施しています。

枝豆採り

8月24日、宇治田原町立保育所で食教室を実施しました。「縦喜おふくろ伝承の会」の上辻豊栄さんの畑で子どもたちが枝豆を収穫し、野菜づくりの大変さを楽しみ、野菜を食べる大切さを学びました。



「食」を通じて地域と交流

収穫体験は夏の暑い日でしたが、子どもたちは元気に枝豆採りをしてくれました。収穫後の試食でも「おいしいね!」「家にも持って帰る!」と喜ぶ子どもたちの表情を見ながら、「こういう教室が開催できてよかったね」と会の仲間とも話していました。野菜の収穫など、私たちが子どもの頃には「当たり前」だったことが「食育」や「地産地消」などと特別なことのように言われていることは少し寂しくも思いますが、約10年続いている朝市に遠方から買いに来られる方がいらっしゃるように、消費者の食への意識は最近確実に変化しているように思います。今後も私たちの会では、収穫体験や郷土料理の体験を通して、地域に伝わる食文化と農業の大切さを伝えていきたいと思っています。

縦喜おふくろ伝承の会会長
上辻豊栄さん



椎茸採り

10月13日、南山城保育園で実施した食教室では、南山城村椎茸生産組合連絡協議会福中庄司さんの指導で椎茸のもぎとりを体験しました。



地産地消のすすめ

地元で作られる農産物を 地元で伝える方法で食べるぜいたく

「やましろ地域の直売所一覧」「やましろ郷土食こよみ」は、山城広域振興局ホームページでご覧ください。



新ごぼうサラダ

一緒に創ろう

活力とやすらぎの山城交流圏

団塊の世代の健康づくり・生きがいづくり

2007年～2010年にかけて、いわゆる「団塊の世代」が定年を迎えます。そこで山城地域では、団塊の世代の方々が退職後も健康で生きがいをもって暮らせる地域をつくるため17年度に「団塊の世代の健康づくり・生きがいづくりプラン」を策定しました。

今年度、団塊の世代が多く住む京田辺市大住ヶ丘をモデル地区に、地域における健康づくりや仲間づくりのリーダーを育て、自主的な健康づくりや地域づくりにむけた活動を推進しています。

いきいきとしたセカンドステージを できることから一步一步

今まで社会を支えてこられた団塊の世代の方々にセカンドステージもいきいきと自分らしく暮らしていただくため、「健康づくりは地域づくり」をキーワードにさまざまなプログラムを展開していきます。

ただ漠然と「健康づくり」を前面に押し出してもなかなか興味を持ってもらえないので、まずは「自分は何がしたいのか」を探していただき、それを続けるためには「心も体も健康でなければ」と実感してもらえるようなセミナーにしたいと思っています。

これまで会社等の人間関係が中心で、地域でのつき合いがあまりなかった男性に参加していただければと思います。

京都府山城北保健所保健室 健康支援担当
保健師 山本恭子



大住ヶ丘いきいき セミナー

9月～2月に6回シリーズで開催。対象は概ね55～65才の男性。メタボリック症候群、SAS（睡眠無呼吸症候群）などの解説、ストレッチ、ウォーキング、そば打ち、宇治茶の淹れ方、音楽など参加型のセミナーです。



山城北地域精神保健福祉ネットワーク

精神障害者の社会復帰、自立を促進するため、市町村、福祉・医療関係機関やNPOによるネットワークを作り、支援システムの検討や社会資源等の調査研究、施策等の提言等を行っています。ネットワークでは3つの検討部会で活動しています。

情報支援システム部会

正しい精神保健福祉情報を提供するため、管内社会資源マップ・ホームページを作成します。

地域生活支援システム部会

山城北地域のニーズに合わせた安心して暮らせるための地域生活支援システムを検討・具体化を図ります。

社会資源開発部会

京都文教大学学生プロジェクトが精神障害者の就労の場として開設したカフェを一つの社会資源として生かし地域連携のあり方を提案します。

10月24日、文化パルク城陽で、山城北精神保健福祉ネットワーク全体会、京都ノートルダム女子大学人間文化学部助教授佐藤純氏による講演「精神障害者の生活のしづらさ！～地域でできること～」を実施しました。

科学好き・ものづくり好きの子ども育成

山城広域振興局、乙訓教育局、山城教育局では、関西文化学術研究都市を中心に多くの研究機関、大学、ものづくり企業等が集積し、豊かな自然があるこの山城地域から、次世代の科学やものづくりを支える創造性豊かな子どもを育成するため、平成17年度に「科学好き・ものづくり好き子ども育成プラン」を策定し、本年6月には、「やましろ科学好き・ものづくり好き子ども育成支援会議」を発足し地域が連携できるしくみづくりを進めています。

ものづくりは、物の変身に直接関わることで、「自然の不思議さ」や「科学のおもしろさ」と出会わせてくれる、大変魅力的な活動です。子どもたちが、こういう活動を豊富に体験して、自然に対する興味・関心や探求心を持ち、自然とどうつきあうかを考える人に育ってほしいと思います。

やましろ科学好き・ものづくり好き子ども育成支援会議会長
京都教育大学 広木正紀教授



やましろ未来っ子サイエンスクラブ

山城地域の児童・生徒を対象に、科学やものづくりへの興味・関心を高めることを目的に実施しています。学研都市などの研究機関や企業、大学などで科学実験や工作など連続9回の活動を行います。



手作り太陽電池(第6回目の活動 きつぷ光科学館ふおとんにて) 小学校4年生

「今までの中でいちばん難しかった。でも完成してうれしかった」
「ラズベリーのアントシアニンを使って電池が作れるとは思わなかったので、新しい発見だった」
保護者
「かなり高度な内容なので、子どもだけでなく、見学の親にも楽しめました。」

京のエジソンプログラム

科学技術教育・ものづくり教育を通じて将来の科学技術を担う人材を育成するため、産業界と連携し、ものづくりや科学のほんものに身近にふれられる多様なプログラムを実施しています。



環境保全への理解を踏まえた親子でのオリジナル電池づくり(大山崎小学校にて) 小学校4年生

「かん電池の中はどんなのだろう」とワクワクしながらお父さんとつくった。中に黒土のようなものを入れる作業がありびっくりした。」

第2回やましろ科学好き・ものづくり好き子ども育成支援会議

10月6日、協賛企業である株式会社椿本チエイン京田辺工場で開催されました。工場見学などのあと科学やものづくりを子どもたちに伝えるための科学的な思考法を育てていくことの重要性や、今後地域や学校でどのような取組をするべきか協議されました。



ともに創る 地域の豊かな空間・河川

木津川右岸運動公園(仮称) 森づくりグループが発足

木津川右岸運動公園(仮称)における府民参画による「再生の森づくり」の取り組みとして、「森づくりグループ(仮称)」の立ち上げを9月16日に行いました。

グループでは、森づくりに関する知識の習得や、苗木づくり・土づくり、地域の環境調査などを行い、府民との協働による公園づくりを進めています。



山城うるおい水辺パートナーシップ事業

府が管理する河川で地域の住民団体等が実施する継続的な美化清掃や環境保全その他河川愛護のボランティア活動に対し、山城広域振興局や地元市町村が支援する河川協働制度です。



現在、青谷川、南谷川、玉川(井手町)、久保川、小泉川(大山崎町)、古川(久御山町)、古川(城陽市)、大谷川(八幡市)、小泉川、小畑川(長岡京市)、和束川(和束町)で全11団体と事業協働協定を締結しています。

“ちょっとした活動”を積み重ねて 川を憩いの場に

「地元に流れる小泉川を“癒し空間”としての本来の川の姿に戻したい」という思いから、4年前に始めたのがこの清掃活動です。

私たちの活動の合言葉に「チョボラ30」というものがあります。これは「チョット・ボランティア・30分間」という意味で、「半年に一度の大掃除」ではなく、たとえ30分間でもコツコツと“続けること”に重点を置いた活動をしています。

現在は小泉川の河川清掃が主な活動になっていますが、原点には「川の掃除だけでは終わりがたかない」という思いがあります。自分たちが住むまちを将来どうしていきたいのか、そういう夢を持った上でのまちづくり活動の一環として考えています。

今後も欲張りすぎず、少しずつ新しいことを取り入れながら、よりよいまちにしていきたいですね。

下海印寺まちづくり協議会
八田一雄さん



洪水対策の推進

近鉄煤谷川橋梁架替工事完成

平成15年度に着手した近鉄京都線煤谷川橋梁の架替工事が9月末に完成しました。下流部で最も断面が小さかった川幅が7mから12mに広がり、煤谷川の治水安全度が大きく向上しました。



竹林整備と竹の利活用

放置竹林の拡大防止と竹の利活用

モデル竹林の整備、竹林ボランティアグループへの支援、農業への竹の利活用促進など、放置竹林の拡大防止と竹の利活用に取り組んでいます。



頑張る企業を応援します！

山城ものづくり企業オンライン倶楽部

専門家を交えた小グループの討論を通して、新製品開発やビジネスプランを具体化していきます。選考の結果9社の参加が決定し、10月5日に倶楽部設立記念の意見交換会を行いました。



地球温暖化対策は地域から

環境ネットワーク会議

乙訓・山城北・山城南の各保健所では、地球温暖化防止に自主的に取り組んでいる住民、事業者などと情報交換を行いました。写真は9月7日「乙訓の環境を考える交流会」。



全国から若さが弾けました

第30回全国高等学校総合文化祭(京都総文)

8月2日～6日府内各地で全国の高校生がさまざまな文化活動の成果発表を繰り返しました。写真は山城総合運動公園体育館で行われた「マーチングバンド・パントワリング」部門。



人と人、コミュニティの「絆」を強めたい

高齢者見守り活動

9月15日加茂町ふれあいセンターで「知事と和い知事ミーティング」を開催し、地域で高齢者を支える仕組みづくりについて意見交換しました。



みんなでまもうろ！ 子どもの安全 京都大会

府民防犯の日(7月10日)

7月19日、「子ども・地域安全見守り隊」などが参加し「知事と和い知事ミーティング」を開催。その後山田知事は、宇治市立菟道第二小学校で児童向けの防犯教室や見守り実践活動に参加しました。



府民一人ひとりの安心・安全

“イカのおすし”大声コンテスト

府民一人ひとりの防犯意識向上と、子どもの安心・安全を確保するための大声コンテストを、7月22日長岡京市長法寺小学校で実施しました。